

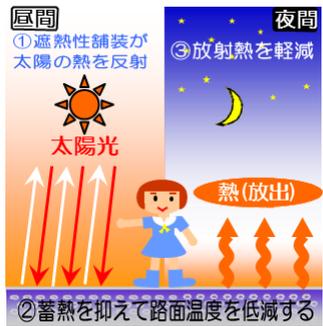
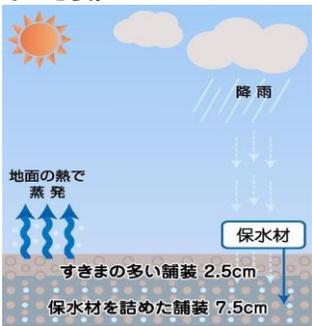
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた道路の暑さ対策について（舗装の取組み）

暑さ対策の概要

◎概要

ヒートアイランド対策の一つとして、センター・コア・エリアを中心とした重点エリアにおいて、暑さを緩和する遮熱性舗装、保水性舗装を路面補修工事に併せて実施している。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた暑さ対策の一つとして、2020年までにマラソンコースを含む都道において、当舗装を累計約136km整備を実施する。

	遮熱性舗装	保水性舗装
性能	<ul style="list-style-type: none"> 路面に塗布した遮熱材が、赤外線を反射することで舗装への蓄熱を防ぎ、路面温度の上昇を最大で8℃程度抑制。 低騒音舗装の騒音低減機能を確保可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 保水材にしみ込んだ雨水等が蒸発するときの気化熱によって、路面温度の上昇を最大で10℃程度抑制。 温度低減効果を発揮するには、降雨などによる保水が必要。 
都道での適用範囲	センター・コア・エリアを中心とした重点エリアのうち、 夜間環境基準超過区間 に適用。 騒音対策が必要な箇所	センター・コア・エリアを中心とした重点エリアのうち、 夜間環境基準超過区間外 の区間に適用。 騒音対策が必要ではない箇所
経過	平成19年度：共同実験を実施。 都道で試験施工を実施 平成20年度：本格実施開始	平成13年度：都道で試験施工を実施 平成17年度：本格実施開始
施工実績 H26年度末	約 65 km	約 19 km

整備方針・今後の取組など

◎遮熱性舗装等の整備箇所

マラソンコースなどや競技会場周辺における道路の遮熱性舗装等の整備を進める。

- ①現道上で実施する競技コース（現時点でコースが未定）
（マラソン、競歩、トライアスロンなど）
- ②競技会場周辺の都道、区市道
（国立競技場、武蔵野の森総合スポーツ施設等の競技会場等周辺における観客の主な動線となる道路）

◎整備手法等

- ①都道：路面補修工事に併せて整備
- ②区市道：遮熱性舗装等に対する対象区市への都費補助
（※各区市が実施主体となり整備）

◎調整事項等

- ①他事業（道路のバリアフリー化、自転車走行空間の整備、無電柱化の推進等）との工事調整
- ②接続する国道・区市道等との工事調整
- ③整備実施箇所（コース、競技会場周辺）の精査
- ④遮熱性舗装表面の経年劣化等による剥離箇所の再塗布等の補修方法の検証等

東京都長期ビジョン（2020年大会開催までのロードマップ）

項目	2014年度 まで (見込み)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
マラソンコースを含む都道の暑さ対策	都道約 84km (マラソンコース区間)	10km	10km	10km	11km	11km	都道約 136km 2020年大会開催	
		遮熱性舗装・保水性舗装の整備					テストイベント	
		遮熱性舗装・保水性舗装を積極的に導入						